

FUTABA 第111回 定時株主総会 2025年6月20日

Create Beyond



報告事項	1. 第111期(2024年4月1日から2025年3月31日まで) 事業報告、連結計算書類、計算書類報告の件 2. 第111期(2024年4月1日から2025年3月31日まで) 会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
決議事項	第1号議案 取締役7名選任の件 第2号議案 監査役1名選任の件 第3号議案 補欠監査役1名選任の件 第4号議案 役員賞与の支給の件

報告事項



世界経済

▪底堅く推移 ▪米国動向注視

自動車業界

世界の新車販売台数は回復基調

単位:億円

	2025年3月期 通期実績	2024年3月期 通期実績	増減	増減率
売上高 [支給品込み]	7,071	7,958	▲886	▲11.1%
[支給品除く]	4,422	4,496	▲73	▲1.6%
営業利益	151 (2.1%) (3.4%)	192 (2.4%) (4.3%)	▲40	▲21.0%
経常利益	132 (1.9%) (3.0%)	184 (2.3%) (4.1%)	▲52	▲28.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	62 (0.9%) (1.4%)	128 (1.6%) (2.9%)	▲66	▲51.6%

()内は売上高比率を表示 上段:支給品込み 下段:支給品除く

為替レート (1ドル)	152.6 円	144.6 円	+8.0 円
----------------	---------	---------	--------

安定的な配当の維持

「株主資本配当率(DOE)」3.5%を下限とした累進配当

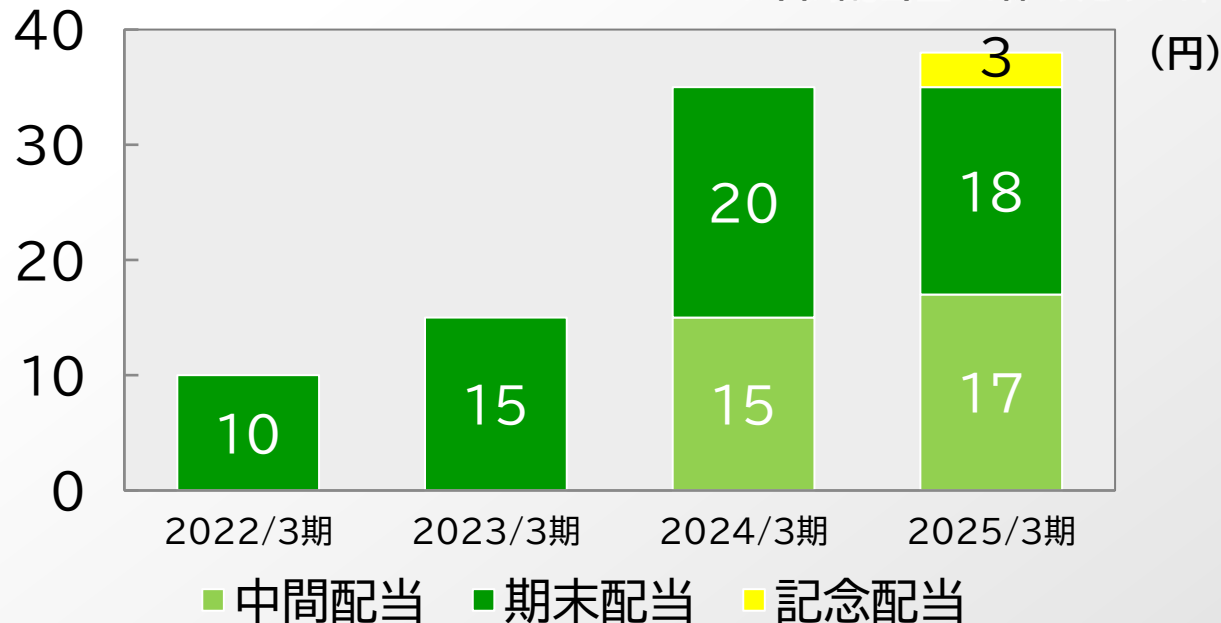
当期末の株主配当金
創立80周年記念配当含む

1株あたり 21円

当期の年間株主配当金

1株あたり 38円

※中間配当金 1株あたり17円との合計



前中期経営計画(2022-2024)の振り返り



前中期経営計画(2022-2024)の振り返り

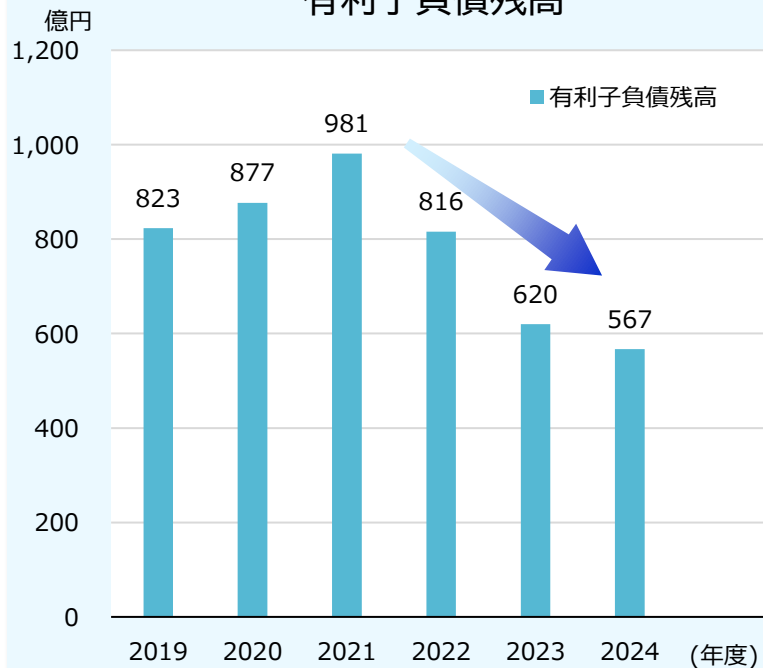
振り返り

前中期経営計画テーマ

稼ぐ力を強化し、フリーキャッシュフローの増加をはかる

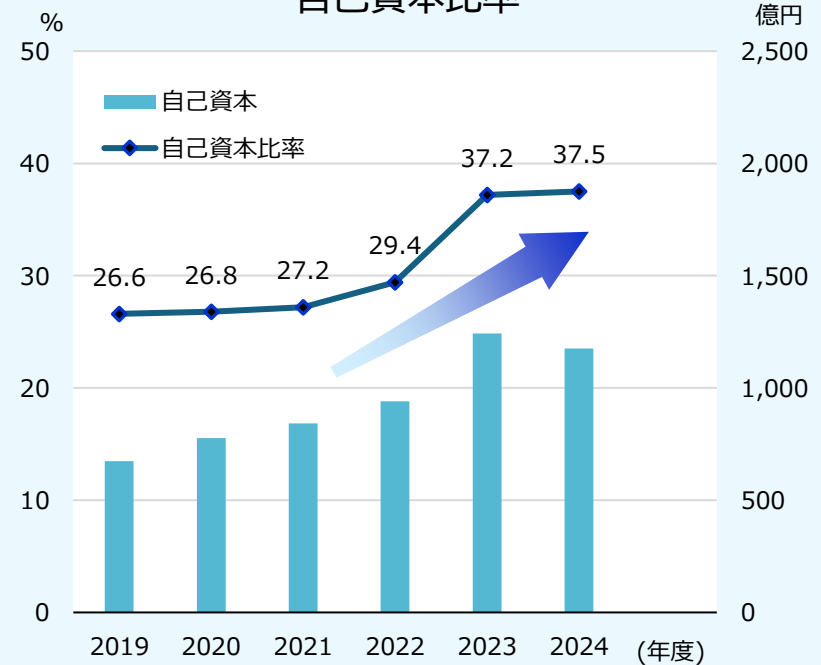
有利子負債の返済により財務体質は改善

有利子負債残高



有利子負債残高は2021年度末から
400億円以上削減

自己資本比率



自己資本比率は2021年度末から
10ポイント向上

中期経営計画2025－2027の位置づけ



既存事業の成長(製品) / 新規事業の事業化

< 売上拡大のための3つの戦略 >

- ボデー系部品事業: 売上拡大に向けた開発・能力向上
- 排気系部品事業 : 電動化ニーズに合わせた新たなシステム開発
- 新規事業 : 開発を加速し早期事業化

既存事業の成長(地域)

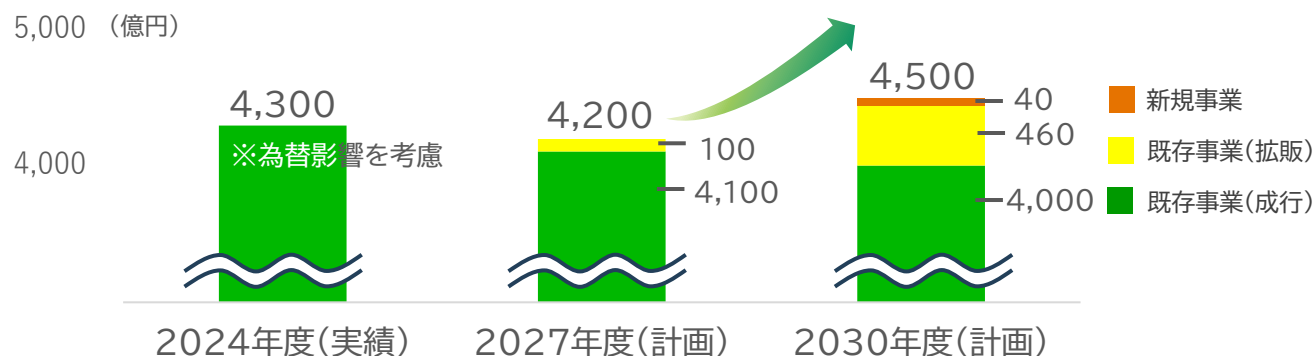
- インド事業: 成長市場での拠点拡大と事業基盤強化

経営基盤の強化

- 稼ぐ力の向上
- 人への投資
- カーボンニュートラル

売上計画

※支給品を除く



TOPIC 大型化・一体化への取り組み



ロードマップ

車両の企画構想から参入する事で自動車メーカーと共創し
高付加価値部品を提供

企画 構想	構想開発 設計	評価 解析 	図面 発行	作り方 検討	生産		完成車
					小規模組立 	中規模組立 	

従来

自動車メーカー

フタバ

自動車メーカー

現在

自動車メーカー

フタバ

自動車メーカー

将来

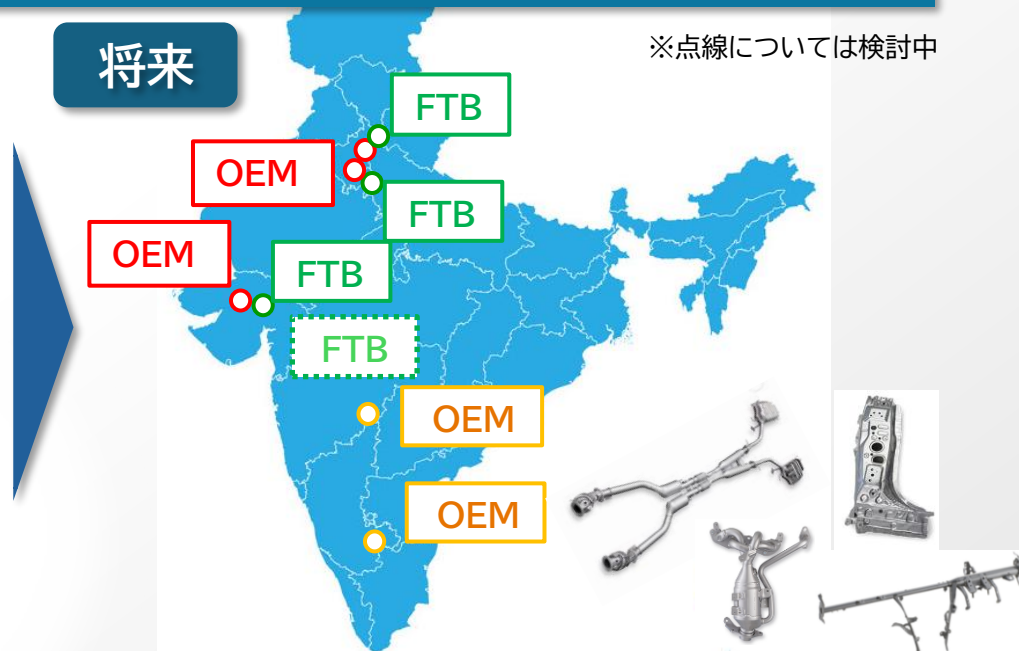
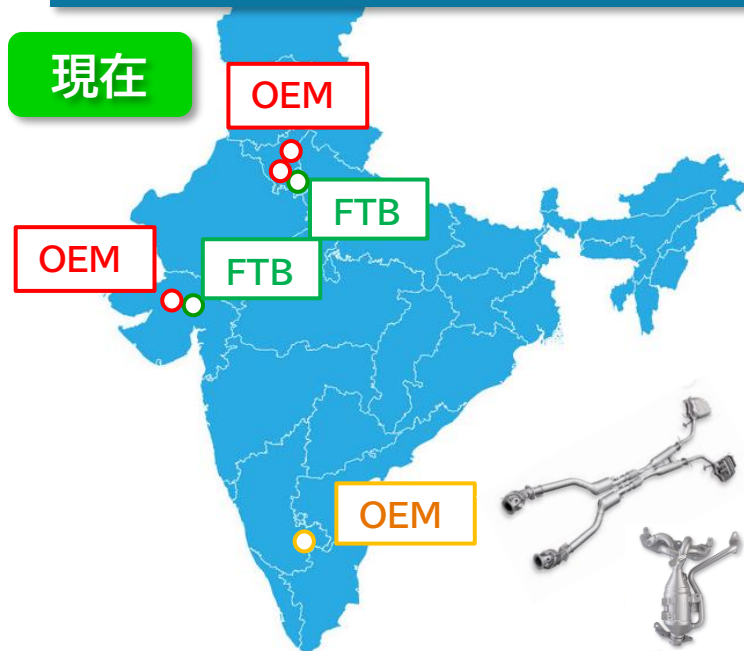
フタバ

自動車メーカー

「良い部品づくり」から「良いクルマづくり」へ

目指す姿

自動車メーカー(OEM)の成長に対応し事業拡大・成長する



フタバの強み

- 日本のものづくりをインドで実現(品質、生産性、改善)
- 鉄・ステンレス加工メーカーとしての幅広い大物製品
(ボデー、インパネリインフォースメント、排気管、エキゾーストマニホールド)
- 優秀なローカルスタッフ

既存事業の成長(製品) / 新規事業の事業化

<売上拡大のための3つの戦略>

- ボデー系部品事業: 売上拡大に向けた開発・能力向上
- 排気系部品事業 : 電動化ニーズに合わせた新たなシステム開発
- 新規事業 : 開発を加速し早期事業化

既存事業の成長(地域)

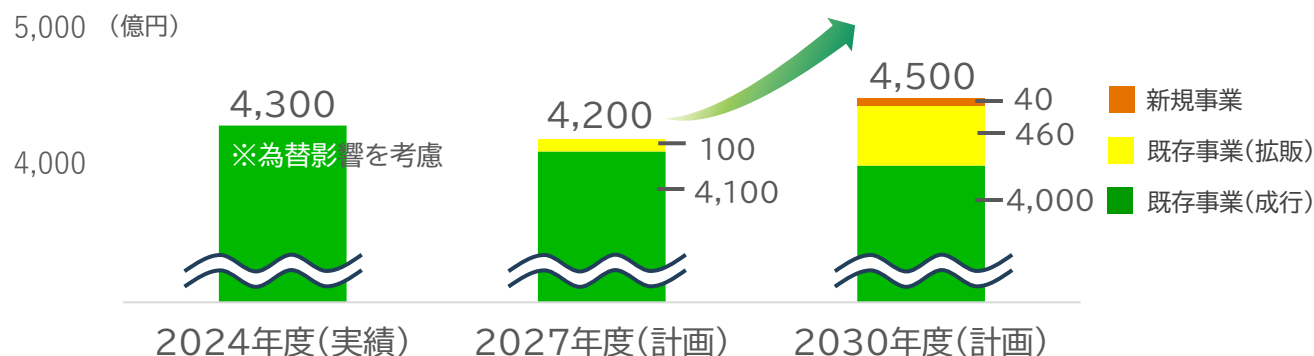
- インド事業: 成長市場での拠点拡大と事業基盤強化

経営基盤の強化

- 稼ぐ力の向上
- 人への投資
- カーボンニュートラル

売上計画

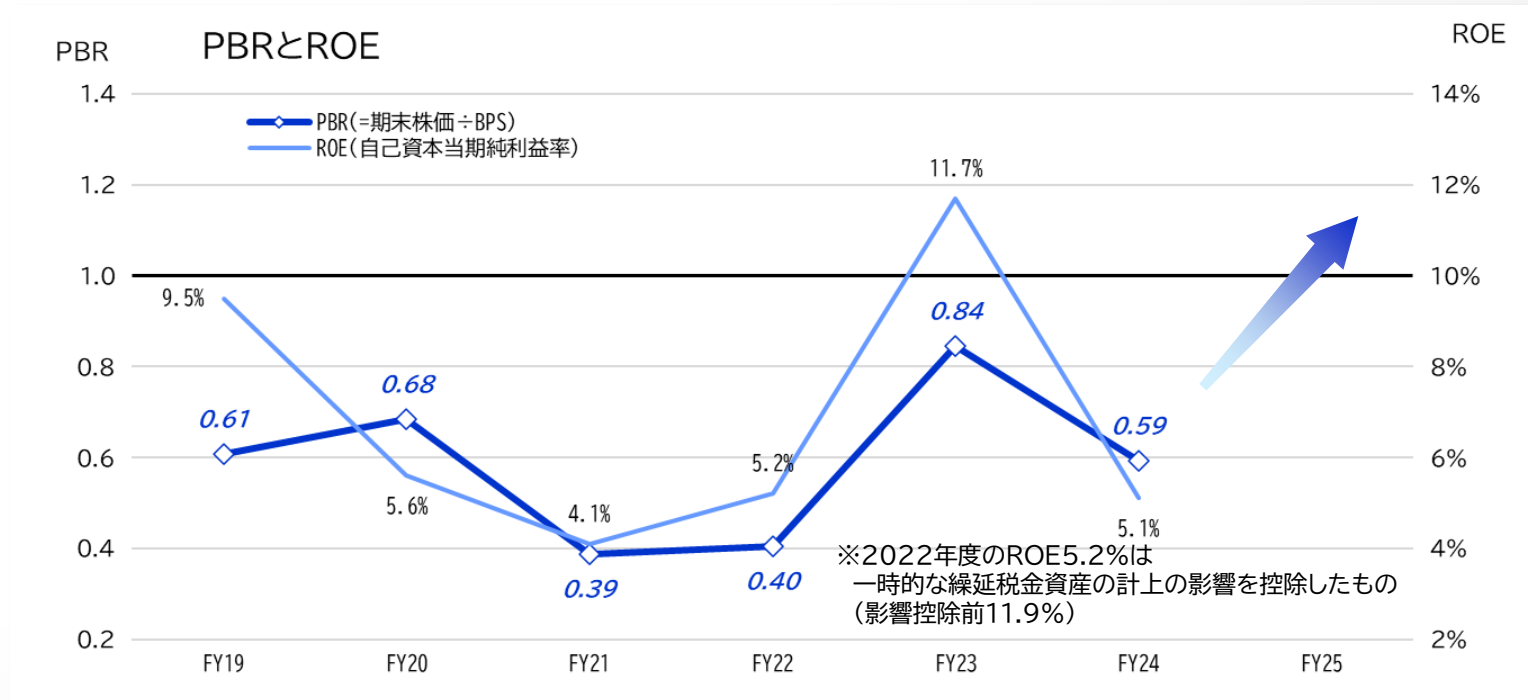
※支給品を除く



新中期経営計画テーマ

PBR1倍の早期達成に向けて、収益力の向上をはかる

指 標	ROE	営業利益率
目標値	10%以上	5.0%(27年度)



当社のPBRとROEには相関があり、収益の持続的成長をはかることで
ROE10%を達成し、PBR1倍以上を実現

キャッシュアロケーション

配分：「有利子負債返済」 ▶ 「将来成長投資」「株主還元」

前中期経営計画 2022-2024

【キャッシュイン】

営業CF
1,300億円

【キャッシュアウト】

株主還元
69億円

設備投資
659億円

有利子負債返済
414億円
(981→567)

その他 158億円
研究開発費
150億円

新中期経営計画 2025-2027

【キャッシュイン】

営業CF
1,180億円

【キャッシュアウト】

株主還元
110億円以上

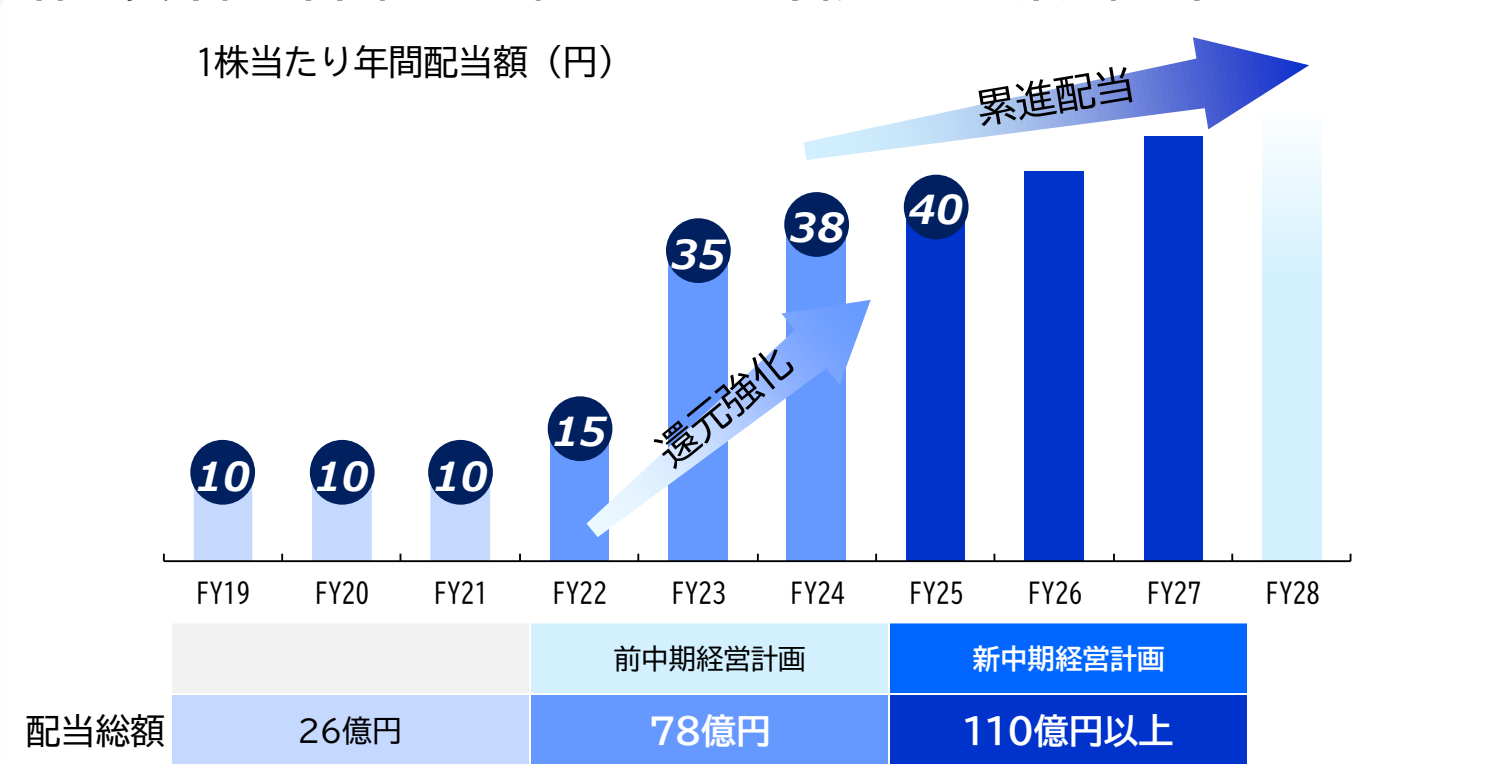
通常設備投資
770億円

成長設備投資
300億円

研究開発費
220億円

株主還元

株主資本配当率(DOE)3.5%を下限とした累進配当



これまで
経営成績・配当性向等を総合的に勘案
※配当性向30%程度を目安

これから
株主資本配当率(DOE)3.5%を下限とした
累進配当を導入し安定的で成長に応じた配当

私たちは、『環境』『安心』『豊かな生活』をお届けすることで、
地球にやさしいモノづくりを通じて、
誰もが暮らしやすい社会に貢献し続けてまいります。

環境

自然環境への負荷を
低減する排気系部品



安心

人を危険から守り、安心できる
ボデー・内装部品



豊かな生活

生活品質を高める
製品・サービス

